

会員の声



シルバー人材センターとの出会い

片山 栄治 (広瀬)

60歳で定年退職後、住みなれた和知の里で、水稻、野菜等の栽培に携わりながら、孫の子守りに毎日、多忙な日々を過ごしていた矢先、先輩からシルバー人材センター会員への加入を勧められ参加しました。私の担当する作業は地域での草刈や冬季の最寄り駅除雪などに従事し、2年目になりました。高齢化の顕著な地域で一

生懸命に農地や、環境を守ろうと必死に頑張っておられる方々の切実な思いを感じる中で、自分の果たす役割の重要性をこのシルバー人材センターの活動を通じて痛感しています。

日々、少しでも活動に参加しているメンバーとより親交を深めながら、お互いに健康に留意し楽しくをモットーに自分の思いを実現できればと頑張っております。



働けることへの感謝と喜び

山内 厚 (粟野)

シルバー人材センターに入会させてもらって早二年と少し、「亭主元気で留守がいい」妻の言葉と自分自身の人生を振り返り、退職した今、これからの人生を元気で明るく過ごしたい、そういう思いから入会させていただきました。最初の仕事が、三ノ宮東城跡の発掘作業で炎天下の中での作業は大変厳しかったですが、今となつては懐かしくよい経験をさせてもらったと思っ

ております。

今では多くの会員仲間もでき久しぶりの出会いの中で、一緒に作業ができる喜びを感じております。

まだまだ入会者の中では新米ですが、活動の幅を広め、元気で頑張っていきたいと思っておりますので、今後共よろしく願ひします。



現在の思い

高橋 礼子 (グリーンハイツ)

私は、仕事を辞めていて、60歳を過ぎて、シルバー人材センターの事を聞いていたので、友人と2人で入会させて頂きました。そして、宝くじ業務のお仕事を紹介して頂き、初めは、私にできるか不安でしたが、先輩方に仕事の内容を丁寧に教えてもらい、現在に至っている事に感謝しております。

皆さんに仲良くさせてもらってとてもうれしく思い、これからも健康に注意しながら頑張っていこうと思っています。今後共よろしく願ひ致します。



ご縁に感謝

小林 さち子 (本庄)

この地で第二の人生をと、四国松山から移り住み、早いもので三年が経ちました。

一年前に用務員の仕事のお話をいただき、シルバー人材センターに入会致しました。

午前中の三時間の仕事ですが、慣れない土地で初めての仕事内容の為、不安もありましたが、お役にたてればとお受けしました。

和知支所の皆様に親切にいただき、シ

ルバー先輩の森本さんにご指導を受けながら無事に一年間勤めることが出来ました。

縁に縁をもらいつつ「ご苦労さん」と声をかけていただける事に感謝し、仕事ができる事の充実感を再認識しております。

これからもシルバー人材センターの方々に世話になりながら、健康に留意して頑張っていければと思っています。

よろしくお願い致します。



シルバー人材センターの仕事を通じて地域貢献

林 論 (安井)

私は、丹波自然運動公園の合宿所で宿直の業務を、午後5時から翌日の朝8時30分まで、他の2名の会員さんと交代で月に10日ほど行なっています。業務内容は、合宿所を利用されるお客様への対応、風呂場の後片付け、施設内の清掃などが主な業務です。お客様は、老若男女さまざままで、トラブルが無ければ、お客様との交流が楽しい職場です。

この仕事を通じて得られるものは、もちろん配分金はありがたいですが、それより、お

客様とのふれあいが一番だと思っています。

私の考えている人生のライフプランは、第一線を卒業後、70歳までは、地域に貢献する事です。今の仕事を通じて、京丹波町（丹波自然運動公園）に来て下さるお客様に満足していただき、また、京丹波に来てみたいと思っただくように、親切に楽しく面白く対応しているところです。自分の経験から、宿泊先の対応が良ければ、楽しい旅になるので、今後も地域貢献になるよう頑張ります。



二倍の祝福

東山 功 (大朴)

京都から京丹波町に住んで十五年、夜空の美しい星を見ながら、澄みきった空気をお腹いっぱい吸い込み、毎日徳しているなと感じています。

二年前に三ノ宮の発掘に参加してから、夏に野菜の収穫、冬はダンプのタイヤ洗いと、色々経験させて頂いてます。シルバー人材センターの仕事をして感じた事は、自分が井の中の蛙その物であったという事です。

仕事場では、たまに失敗して叱られる時もありますが、実力個性豊かな先輩と働けるので二倍の祝福です。今後入会してこられる方々を含めて長いおつきあいをさせて頂ければ幸いです。